

外壁塗装仕様書(木造外壁・木部特化版)

1. 工事概要

- 構造：木造 2階建て(延べ面積 249.65 平方メートル)
- 外壁材：天然木板
- 仕上げ：木目活かし仕上げ(屋外用ノンロット 205N Z カラー使用(ライトブラウン))
- 物件名：公益社団法人伊勢市観光協会 風餐亭 外壁塗装改修工事
- 所在地：伊勢市本町 16-2
- 施工範囲：外壁全体、付帯部(軒天、破風、鼻隠し、雨樋、水切り、雨戸、煙突(鉄部)等
- 工期(予定)：契約締結～2026.3.20まで

2. 使用塗料・材料

木部の塗装は、下記を参考に、内部まで浸透して防腐・防カビ・防虫効果を発揮する塗料を選定すること。

施工箇所	工程	使用塗料名(例)	塗り回数	備考
木製外壁	下塗り	ノンロット 205N Z カラー	1 回	防虫・防腐剤の浸透
	上塗り	同上	2 回	同色で仕上げ(計 2 回塗り)
軒天(木製)	塗装	同上	2 回	1 回目塗り～2回目塗りの 乾燥 2～6 時間(晴天日)
窓枠・霧除け	塗装	同上	2 回	劣化が激しい場合は3回塗り

3. 木部特有の施工工程・作業詳細

① 高圧洗浄および乾燥

- 木材を傷めないよう、水圧を調整(10MPa 以下推奨)して洗浄すること。
- 木材は水分を含みやすいため、洗浄後 48 時間以上(夏季)～72 時間以上(冬季)の乾燥期間を設けること。水分計で含水率 18%以下を確認するのが理想。

② 素地調整(ケレン作業)

- ・ 研磨： サンドペーパー(#100～#120程度)またはナイロンタワシで、古い塗膜や毛羽立ち、黒ずみを除去する。
- ・ 付着物除去： 苔、カビ、汚れを完全に落とし、塗料が浸透しやすい状態にする。
- ・ 木材が腐朽している箇所は、必要に応じて部分的な張り替えを協議する。

③ 塗装作業

- ・ 刷毛塗り： 木部の塗装はローラーよりも「刷毛(はけ)」を使用し、木目に沿って刷り込むように塗布すること。
- ・ 塗り重ね： 1回目が完全に乾燥してから(晴天日で2～6時間)
- ・ 2回目を塗ること(乾燥不足はムラや剥離の原因)。
- ・ 吸い込み確認： 木材の乾燥が激しく、塗料の吸い込みが著しい場合は、3回塗りを検討する。その際は発注者と協議して決定すること。

4. 検査・注意事項

- ・ 色ムラの確認： 木材の種類や状態によって色の出方が異なるため、目立たない箇所で「試し塗り」を行い、施主の確認を得ること。
- ・ 隙間対策： 板と板の重なり部分(相じゃぐり等)の奥までしっかり塗料を届かせること。
- ・ 火気厳禁： オイルステインは引火性があるため、現場での火気使用を厳禁とする。

5.仮設足場設置工事

- ・北面道路(東面道路も足場設置するなら)道路使用許可書を申請すること。
- ・足場設置工事、解体工事の際は必ず警備員を配置すること。

6. その他

本仕様書に定めのない事項や細部の業務内容については、協議して決定するものとする。